



2022年8月9日

各 位

会 社 名 株式会社 F U J I ジャパン
 代 表 者 名 代表取締役 佐々木 忠幸
 コード番号 1 4 4 9 札 証
 問 合 せ 先 取締役管理部担当 樋口 俊一
 電 話 番 号 0 1 1 - 2 9 9 - 5 3 6 1

**2022年12月期第2四半期累計期間の業績予想と実績値との差異及び
 通期業績予想の修正並びに配当予想の修正（無配）に関するお知らせ**

2022年2月10日に公表しました2022年12月期第2四半期累計期間（2022年1月1日～2022年6月30日）の業績予想と本日公表の実績に差異が生じたこと、また最近の業績動向等を踏まえ、2022年12月期通期業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

1. 業績予想との差異及び修正について

(1) 2022年12月期第2四半期（累計）業績予想数値と実績値との差異（2022年1月1日～2022年6月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	898	38	39	26	12.29
実績（B）	801	△22	△19	△13	△6.30
増減額（B－A）	△97	△61	△59	△39	
増減率（％）	△10.8	-	-	-	
（参考）前期第2四半期実績 （2021年12月期第2四半期）	846	40	44	29	13.86

（差異の理由）

2022年12月期第2四半期業績予想は、北海道・東北エリア・北関東エリアの北ブロックと南関東エリアの関東ブロックに分け、この二本柱による営業展開を図り、感染症対策を慎重に行いお客様への対応に十分に注意を払いながら営業活動を行い、前事業年度と同等の業績が見込まれておりました。

しかし、新型コロナウイルス感染症の第6波の拡大、ロシアによるウクライナ侵攻の影響による原材料価格の高騰や物価高による消費マインドの低下、建築資材や木材の供給不足を起因とする価格上昇が続いたこと、石狩工場の稼働に遅れが生じ新商品の発売が遅れたことにより、売上高、営業利益、経常利益、四半期純利益のいずれも予想を下回る結果となりました。

(2) 2022年12月期通期業績予想数値の修正（2022年1月1日～2022年12月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 1,902	百万円 83	百万円 85	百万円 55	円 銭 26.26
今回修正予想（B）	1,654	2	4	3	1.54
増減額（B－A）	△248	△81	△80	△52	
増減率（％）	△13.0	△97.4	△94.1	△94.1	
（参考）前期実績 （2021年12月期）	1,694	60	65	43	20.35

（修正の理由）

新型コロナウイルス感染症は新たな変異株により感染が再拡大し、依然として厳しい状況で推移しました。また、ロシアによるウクライナ侵攻の影響による社会情勢不安、急激な円安の進行、原油価格高騰による原材料価格の上昇等、国内外での見通しは依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社主力事業である外壁リフォーム工事の受注も、新型コロナウイルス感染症の拡大、ロシアによるウクライナ侵攻に起因する原材料価格の高騰や物価高による消費マインドの低下等により伸びず、受注件数が減少し、当事業年度の第2四半期において大幅な減益となりました。

しかし、遅れが生じておりました自社工場である石狩工場の稼働により、新商品「サイディング」の販売が堅調に推移しており、受注数は今後更に増加していくことを想定しております。

以上のことから2022年2月10日に公表しました前回発表予想を下回る見通しとなりました。

2. 配当予想の修正について

配当予想の修正の内容

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期 末	合 計
前回発表予想 （2022年2月10日公表）	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 7.00	円 銭 7.00
今回修正予想	—	0.00	—	0.00	0.00
当期実績	—	0.00			
（ご参考）前期実績 （2021年12月期）	—	0.00	—	5.00	5.00

(修正の理由)

当社は、株主に対する利益還元に関しましては、経営の重要課題の一つとして位置付けております。将来の事業発展のために必要な内部留保の充実を考慮したうえで、各事業年度の経営成績及び財政状況を勘案しつつ、利益配当による株主に対する利益還元を検討していく事を利益配分に関する基本方針と考えております。

当期の期末配当予想につきましては、2022年12月期通期業績予想の修正を踏まえ、当初予想の1株当たり7円から無配とさせていただくことといたしました。

株主の皆様には深くお詫び申し上げますとともに、来期以降、業績回復に努めてまいりますので、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

※上記予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上